

事務事業名	商店街活性化事業	整理番号	42101-000
所 管	商工観光課 商工労政スタッフ		

**事務事業の位置付け**

期間	平成 14年度 ~ 平成 年度	根拠法令・要綱等	御殿場市商店街駐車場利用に関する助成金交付要綱	
基本計画における位置付け	基本政策	4-2 競争力のある商工業の育成	関連	4-3-1 観光・集客体制の強化
	政策	4-2-1 商業・サービス業の振興	政策	4-3-3 観光産業と他の産業などとの連携

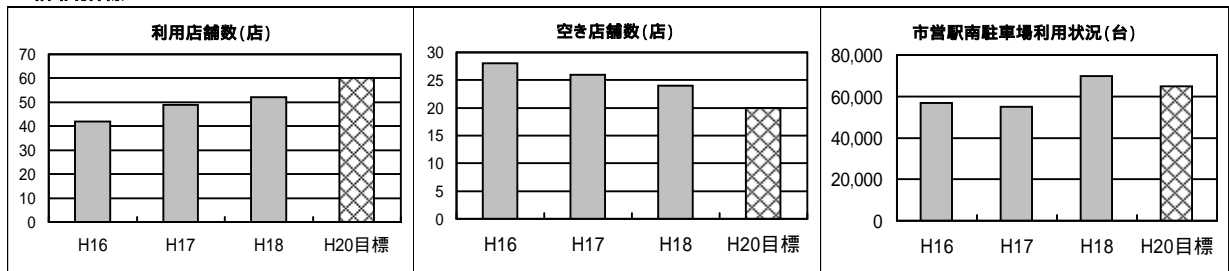
**事務事業の内容**

目的 (何のために)	商店街等が時間貸駐車場を利用してくる顧客のサービスのため、駐車場料金を負担することや商店街でのイベントを実施することにより、客を駅前へ誘導し、中心市街地の商業振興及び活性化を図る。
対象 (誰・何を)	中心市街地内の商店街及び商店等
手段 (どのようなやり方で)	商店街や商店等が来客者のため、駐車場前売り回数券を購入した場合、その1/2を補助する。商店街が独自に行なうイベントにかかる経費の助成。
成果 (どのような状態にしたいか)	御殿場の顔ともいえる御殿場駅周辺に人を誘導することにより、賑わいの創出を行ない、中心市街地の活性化を図る。
事務事業の背景・住民の意向	駅周辺の商店等は、店舗スペースが限られ、駐車場を併設するのに限度があるため、買い物等がしにくい。
見直し改善の経過	実施手法について、商工会、商店街と検討中。

**事務事業の実績・投入コスト**

年度	事務事業実績	投入コスト(千円) 
平成16年度	契約駐車場3箇所、湯沢商店街ワイワイロードアピール事業	
平成17年度	契約駐車場4箇所	
平成18年度	契約駐車場4箇所、新橋ととく市開催(4回)、御殿場線まつり支援	

**評価指標**



**事務事業の評価**

観点別・一次評価(担当部署の評価)		コメント	
観点別評価	必要性	中心市街地の活性化は、当市のみならず全国の地方都市において課題となっているところであり、その対策の一つとして効果を発揮している。今後は、商店街や商工会等と連携することにより、さらに効果をあげるとともに、商店の意識改革につなげる必要がある。	今後の方向性
	有効性		
	効率性		
一次評価	B		手段改善
二次評価(行政評価委員会の評価)		コメント	今後の方向性
二次評価	B	事業効果を検証する方策を検討されたい。	手段改善

**改革プラン**

平成19年度からの対応	利用店舗及び、利用客のアンケート実施。補助率の見直し、実施手法の変更について検討を行なう。
平成20年度以降の対応	19年度の検証に基づき補助率変更、及び実施方法の変更を検討。
改革により予想される成果	コスト削減、商店・商店街の意識改革を行なえる。